



サブプレフィックスアドバタイズメント (SubPrefix Advertisement)

- [サブプレフィックスアドバタイズメント \(SubPrefix Advertisement\)](#) (1 ページ)

サブプレフィックスアドバタイズメント (SubPrefix Advertisement)

ハイジャッカーは、ルータが新しいサブプレフィックスをインストールすることで、モニタ対象プレフィックスによってカバーされる IP スペースの一部のトラフィックをリダイレクトできます。これは、ルータが具体的ではないルートよりも具体的なルートを優先するためです。ハイジャッカーは、既存のサブプレフィックスの新しいルートをインストールすることもできます。これらのハイジャックの試行を検出するために、サブプレフィックスの許可された発信元 ASN のリストを設定できます。このアラームの場合、違反アドバタイズメントは、アドバタイズされたサブプレフィックスとそのピアのしきい値のいずれかが違反している場合です。

考えられる検出される問題

このアラームは、ルートリークまたはモニタ対象プレフィックスのサブプレフィックスのハイジャックを特定するのに役立ちます。

関連するアラームルールの設定

このアラームルールをプレフィックスポリシー設定に追加する場合は、次のオプションを設定する必要があります ([外部ルーティング分析 (External Routing Analysis)] > [設定 (Configure)] > [ポリシー (Policies)] > [ポリシーの追加 (Add Policy)] > [プレフィックスポリシー (Prefix Policy)] > [ルールの追加 (Add Rule)] > [サブプレフィックスアドバタイズメント (SubPrefix Advertisement)])。

- [プレフィックスサブスクリプション](#)
- アドバタイズされたサブプレフィックスごとのしきい値 (Peers to Resolve および Peers to Trigger) [アラームのしきい値](#)

- 許可された発信元 ASN



(注) 発信元 ASN リストを無視するには、[発信元ASNリストを使用 (Use Origin ASNs)] オプションを [いいえ (No)] に切り替えま
す。発信元 ASN リストが無視されると、すべての ASN に対して
アラームがトリガーされます。

- IPv4/IPv6 の最大長：設定された IPv4/IPv6 の最大長よりも長いサブプレフィックスマスク
を無視するオプションを使用できます。IPv4 の最大長は 8 より大きく、IPv6 の最大長は
16 より大きい必要があります。

例

[サブプレフィックスアドバタイズメント (Subprefix Advertisement)] アラームルールを使用し
てプレフィックスポリシーを作成し、プレフィックス 8.8.0.0/24 にリンクします。次のサブプ
レフィックスアドバタイズメントが発生し、アラームがトリガーされます。

- 予期しないサブプレフィックス 8.8.0.5/30 がアドバタイズされます。この場合、このプレ
フィックスは新しい管理組織に割り当てられ、新しい発信元 AS から初めてアドバタイズ
されます。このアラームをクリアするには、サブプレフィックス 8.8.0.5/30 を登録するよ
うに Crosswork Cloud Network Insights を設定するか、または新しい発信元 AS を許可され
た発信元 ASN のリストに追加します。
- 予期しないサブプレフィックス 8.8.0.4/30 がアドバタイズされます。これは、ルートリー
クまたはハイジャックのいずれかを示している可能性があります。このアラームをクリア
するには、8.8.0.4/30 を取り消す必要があります。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。